

日本スポーツマスターズ実施競技への加入に向けた取組みについて

名称	日本スポーツマスターズ
主催	日本スポーツ協会
開催年	2001年宮崎から開催 2020年：愛媛 2021年：岡山
趣旨	生涯スポーツに親しんでいる人にとっての自己の技量を試す場 かつて競技スポーツで活躍した人にとってのセカンドステージの場 →「21世紀の新しいスポーツの場」構想 日本スポーツ協会において、国民スポーツ大会と並ぶ2大大会
競技種目	水泳・サッカー・テニス・バレーボール・バスケットボール・自転車・ソフトテニス・軟式野球・ソフトボール・バドミントン・空手道・ボウリング・ゴルフ
年齢	壮年期（30～44歳） 中年期（45～64歳） 高年期（65歳～）
	2017年兵庫大会 参加者数8957人 経済波及効果 7億5千万円

日本スポーツ協会の取組

- ・2020大会以降に実施を希望する競技：9団体（2014年調査）
- ・2016年から日本スポーツマスターズワーキングチームを設置 検討
- ・2018年日本スポーツマスターズ戦略プランの策定
- ・2020年 2競技の追加実施競技を検討（2022年大会実施予定）

日本ホッケー協会のマスターズ取組

- | | |
|---------------------|--------------------|
| ・家庭婦人ホッケー大会の実施 | 昭和60年代に実施 |
| ・全日本マスターズ6人制大会の実施 | 平成15年から |
| ・日本ホッケー協会マスターズ部会の設立 | 平成30年4月設立 |
| ・マスターズアジア大会の実施 | 平成29年10月開催 |
| ・マスターズ11人制大会の実施 | 令和元年11月開催 |
| ・マスターズワールドカップの開催 | 令和2年開催予定が延期で令和3年開催 |
| ・現在のマスターズ登録人数 | 43チーム 500人 |

加入することのメリット

- ・日本スポーツ協会のメイン大会に出場することができる。
- ・マスターズ世代のホッケー普及活動（男女）がさらに推進できる。
- ・従来のマスターズ6人制大会を移行できるため、運営のノウハウが備わっている。
- ・JHAの負担は、国体同様、少額である。

担当：総務委員会及びマスターズ部会